



第47回 全国公民館研究集会東京大会 開催要項

令和7年

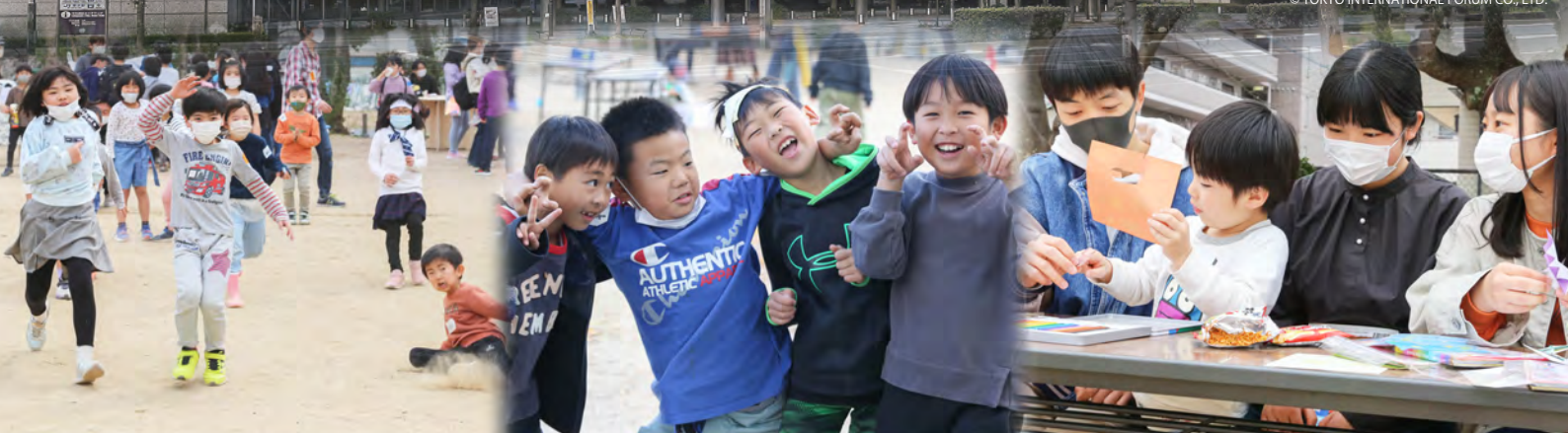
11月12日(水)・13日(木)

会場：東京国際フォーラム ホールB7

ミライにつなぎひろげる公民館
— 公民館に新たなイノベーションを! —

TOKYO

© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.



主 催



公益社団法人 全国公民館連合会

協 賛 損害保険ジャパン株式会社／明治安田生命保険相互会社／エコー総合補償サービス株式会社

大会テーマ ミライにつなぎひろげる公民館 —— 公民館に新たなイノベーションを! ——

趣旨

公民館は戦後初期に構想され、時代のさまざまな荒波を経て、間もなく80年目を迎えるようとしています。

コロナ禍の中でデジタル化が飛躍的に進み、公民館の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という基本的な機能も、そうした状況を踏まえた一段高いステージへと進化しつつあります。また、公民館が、公民館的な別の施設に生まれ変わったり、所管が変わったりすることも増えてきており、公民館自体やその連合体のあり方もそれに応じたイノベーション(変革)が望まれています。

一方で、「まちづくり」「地域づくり」など、地域コミュニティに注目されることが増えてきているのも事実です。国の動きについても、総務省は地域運営組織・地域生活総合支援サービスを、厚生労働省は地域包括ケアシステム・地域共生社会づくりを、国土交通省は国土強靱化を、まち・ひと・しごと創生会議は小さな拠点づくりを、農林水産省は農村地域づくり事業体をおこなうなど、公民館活動に通じる施策が増えていきます。

公民館活動は、そのような動きと連動し、進展させていくとともに、地方分権の進展の中で、地域住民の自治能力を高め、連帯感の向上を図るなど、地域コミュニティの拠点としての公民館を、これからの時代にどのように創造していくかが問われています。公民館関係者は、公民館の存在意義を見つめ直し、昔ながらの公民館から脱却し、新しい公民館イノベーションを興し、推進していくことが求められています。

本大会では、全国の公民館関係者が東京に集い、公民館が抱える今日の課題を共有しながら、全国的な連携・連帯を深め、互いに切磋琢磨し、新しい発想で公民館活動の充実・発展につながることを目指します。

日本のミライを生きる人のために、いまを生きる人のために。これからも、公民館は過去の公民館を乗り越え、新しい公民館を創ります。

公民館の挑戦は、続きます。

プログラム

11月12日(水) 会場受付(12:00～)

1. 「社会とつながり音楽がひろげる」(13:00～13:20)

演奏: ぽこ あ ぽこ ハンドベルアンサンブル

2. 開会行事(13:30～13:50)

あいさつ

表彰式(代表者のみ)

3. 基調講演(14:00～15:00)

山崎 亮さん(コミュニティデザイナー)

「地域のミライをひらく公民館」(仮)

4. シンポジウム(15:15～17:00)

「ミライにつなぎひろげる公民館活動」

登壇者:

コーディネーター: 牧野 篤さん(大正大学教授)

パネラー: 河村 潤子さん(元文部科学省生涯学習政策局長)

パネラー: 山崎 亮さん(コミュニティデザイナー)

パネラー: 宮城 潤さん(那覇市若狭公民館館長)

5. 情報交換会(18:00～20:00)[参加希望者のみ]

定員200人(参加費: 5,000円)

立食形式

会場: 東天紅 東京国際フォーラム店

期日と会場

令和7年11月12日(水)～13日(木)

東京国際フォーラム ホールB7 (JR有楽町駅徒歩1分)

1日目 11月12日(水) 13:00～17:00

2日目 11月13日(木) 9:00～12:30

開催方法

対面開催(後日オンデマンド配信)

参加費

3,000円(資料代、税込)

※被表彰者の皆さまの参加費・情報交換会費は不要です。

情報交換会(11月12日 18時～20時開催、希望者のみ)

会費: 5,000円(税込み)

会場: 東天紅 東京国際フォーラム店

定員: 200人(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます)

参加のお申し込み

【申し込み】 全国公民館連合会ホームページから、お申し込みください。
(申し込み受付は、8月1日(金)～9月30日(火))



※参加申し込みおよび参加費・情報交換会費のお支払いは、事前にお済ませのうえ、ご参加ください。

※参加取り消しは、10月14日(火)までにご連絡くださった分については返金いたします。

【交通および宿泊について】

当日会場までの交通および宿泊については、参加者ご自身でご対応ください。また、駐車場の確保はございません。なるべく公共交通機関をご利用ください。

参加者

定員: 1,200人(定員になり次第締め切らせていただきます)

公民館及び社会教育・学校教育・教育行政・企業等の関係者・NPO、公民館利用者、その他興味・関心のある方

※会場内では、写真撮影や動画収録が行われるため、会場内の皆さまが映り込む場合がありますので、予めご了承ください。

※プログラム内容は予告なく変更されることがあります。

11月13日(木) 会場受付(8:30～)

- オープニング(9:00～9:05)
- 多様な学びをつなぐ対談(9:05～10:15)
対談: 牧野 篤さん(大正大学教授)
アサダワタルさん(文化活動家)
- ムービー「若者が地域のミライを開く」(10:30～11:10)
公民館の未来は、若者が地域を受け継ぎ、引き継いでいくこと。
公民館を舞台に、若者が悩みながらも活躍している姿を映像で紹介。
監督: 栗山宗大さん(映像作家)
- 公民館のミライをつなぐ対談(11:10～12:20)
対談: 牧野 篤さん(大正大学教授)
田中元子さん(株式会社グランドレベル代表取締役社長)
- 閉会行事(12:20～12:30)

総司会

村松真貴子

(全国公民館連合会副会長・フリーアナウンサー)



■ 山崎 亮(やまざき りょう) studio-L代表、関西学院大学建築学部教授、コミュニティデザイナー

studio-L代表。社会福祉士。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

■ ぽこ あぽこ ハンドベルアンサンブル

メンバーそれぞれが障がいを持ちながらも、東京都八王子市東浅川保健福祉センター内の「レストランあさかわ」と売店で、楽しく元気に働いている(就労継続支援B型)。「ぽこ あぽこ」。それは、イタリア語で「少しずつ」という意味。最初はうまく音を鳴らすことさえできなかったが、「ぽこ あぽこ」の言葉どおり、一步一步、音楽と向き合いながら歩み、現在ではコンサートで演奏するまでに成長した。

■ 牧野 篤(まきの あつし) 大正大学教授

専門領域は、社会教育学・生涯学習論で、日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心がある。最近では、自治体と一緒に自治体公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営したりするなどの調査を進めている。

■ 河村 潤子(かわむら じゅんこ) 元文部科学省生涯学習政策局長

京都府生まれ、東京育ち。文部省・文化庁・千葉市教育委員会・国立大学等で、教育・文化・学術分野の行政や現場の業務に携わり、文化庁次長、文部科学省生涯学習政策局長、内閣官房での文化関係担当などを務めて、2017年退職。その後2023年まで、国立の6つの劇場の設置者である独立行政法人日本芸術文化振興会の理事長として、劇場の運営や文化芸術活動の援助などの任に当たった。

■ アサダ ワタル(あさだ わたる) アーティスト、文筆家、近畿大学准教授

1979年大阪府生まれ。滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程満期退学。博士(学術)。音楽などの表現行為をきっかけに、市街地や復興住宅、福祉施設や学校など様々な生活現場に赴き、「これまでにない他者とのつながりかた」を実践・研究・提案している。「アート×社会活動」が専門で、自称“文化活動家”。

■ 宮城 潤(みやぎ じゅん) 那覇市若狭公民館館長、NPO法人地域サポートわかさ理事

1972年那覇市生まれ(復帰っ子)。2001年「前島アートセンター」設立に参画、アートとまちづくりの活動にかかわる(2011年まで活動)。2006年社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と4回の職名変更を経て、若狭公民館勤務20年目。

■ 田中 元子(たなか もとこ) 株式会社グランドレベル代表取締役社長

建築コミュニケーターとして建築関係のメディアづくりに従事後、2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーとする株式会社グランドレベルを設立、2018年私設公民館として「喫茶ランドリー」を開業、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス賞(地域社会デザイン)。設計コンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。

■ 栗山 宗大(くりやま むねひろ) 映像作家、脚本家

地域社会やコミュニティを題材とした映像・映画作品を数多く手がけている。日本初の「市民参加型映画事業」のモデルをデザインした、ものがたり法人FireWorksを創業。地域住民が自らの地域のために映画を製作するプロジェクトの創発・プロデュースに関わる。

岐阜県恵那市において3万人以上の住民が参加して制作された映画「ふるさとがえり」は、全国各地で今でもロングラン上映されつづけている。

■ 村松 真貴子(むらまつ まきこ) 全国公民館連合会副会長、フリーアナウンサー

元NHKキャスター。NHKテレビ「イブニングネットワーク」「こんにちはいっと6けん」「きょうの料理」などを担当。現在は、NHK文化センター、NHK学園、公民館などの「話し方講座」「朗読講座」講師。また「言葉は未来を創る」というテーマで講演し、執筆活動もしている。「全国公民館連合会」副会長なども務める。「月刊公民館」に『「こんにちはい」に心を込めて』を連載中。